

学校法人桜美林学園公益通報に関する規程

平成 19 年 11 月 17 日制定

(目的)

第 1 条 この規程は、公益通報者保護法（平成 16 年法律第 122 号）に基づき、学校法人桜美林学園（以下「本学園」という。）において、法令、もしくは学内諸規程に違反する行為又はそのおそれがある行為（以下「法令違反行為」という。）が現に生じ、又はまさに生じようとしている場合において、その早期発見および是正を図るために必要な体制を整備し、もって本学園の健全な発展に資することを目的とする。

(公益通報者)

第 2 条 本学園の教職員（非常勤教職員、派遣労働者、本学園と第三者との契約に基づいて本学園においてその業務を遂行する労働者および退職者を含む。以下「教職員等」という。）、本学園の学生、科目等履修生、聴講生及び研究生（以下「学生等」という。）と本学園の生徒、生徒・園児の保護者（以下「生徒等」という。）は、法令違反行為に関する通報及び相談（以下「公益通報等」という。）を行うことができる。

(公益通報等の方法)

第 3 条 本学園は、公益通報等に応じるため、総務課を窓口とする。ただし本学園の学生等については学生センター、教育・研究支援センター（以下「学生センター等」という。）を通じて、及び生徒等については各設置校を通じて「公益通報等」を行うことができる。

2 公益通報等は、電子メール、電話、FAX、書面又は面談の方法によって行うことができる。

(禁止事項)

第 4 条 教職員等、学生等及び生徒等は、不正の利益を得る目的、本学園又は第三者に損害を加える目的その他誹謗中傷等の不正の目的をもって、公益通報等を行ってはならない。

(公益通報等への対応)

第 5 条 総務課は、教職員等、学生等及び生徒等から公益通報等があった場合は、その公益通報者に対し、速やかに通報を受け付けた旨を通知し、その内容に応じて、迅速かつ適切に対応しなければならない。ただし、当該教職員等、学生等及び生徒等の連絡先が明らかでない場合の通知については、この限りではない。

(調査の開始)

第 6 条 総務課は、公益通報等の受付後すみやかに、通報内容に関する調査の必要性の有無、その他通報に関する対応を決定しなければならない。ただし、法令違反行為として通報された事実が存在しないことが明らかであるときは、この限りではない。

2 総務課長は、前項の定めにより調査を開始する場合は、当該教職員等、学生等及び生徒等に対し、その旨を通知しなければならない。ただし、当該教職員等、学生等及び生徒等の連絡先が明らかでない場合は、この限りではない。

(専門的事項)

第7条 総務課は、公益通報等の取扱いにおいて、高度の専門性を要すると判断した場合は、外部に意見を求めることができる。

(調査委員会の設置)

第8条 総務課は、通報内容の事実関係の調査のため、法人もしくは各設置校等に調査委員会(以下「委員会」という。)を設置することができる。

(1) 委員会は事案ごとに関係する教職員2名以上、外部委員1名、法人本部長及び総務部長とする。

(2) 委員長は上記第1項第1号の教職員の内から理事長が任命する。

(調査の実施)

第9条 総務課及び委員会は、調査対象部門の責任者及び調査対象者に対し、調査の実施のために必要な帳票及び資料の提出又は事実の報告及び説明を求めることができる。

2 調査対象部門の責任者及び調査対象者は、前項の請求があった場合は、正当な理由がある場合を除いて、これに応じなければならない。

(遵守事項)

第10条 総務課員及び委員会委員は、その職務の遂行に当たって、次の事項を遵守しなければならない。

(1) 教職員等、学生等及び生徒等及び第三者の権利又は正当な利益を侵害しないこと。

(2) 調査対象部門や調査対象者の業務の遂行に重大な支障を与えないこと。

(3) 常に公平不偏の態度を保持し、全て事実に基づいた調査を実施すること。

(4) 公益通報等を行った教職員等、学生等及び生徒等個人を特定する情報について、本人の同意がある場合を除き、その秘密を保持すること。

(5) 職務上知り得た事実を正当な理由なく他に漏洩しないこと。

2 総務課員及び委員会委員は、その職を離れた場合であっても、前項第4号及び第5号に定める事項を遵守しなければならない。

(報告)

第11条 総務課長は、公益通報等を受けたときは、その旨及びその内容(ただし、公益通報等を行った教職員等、学生等及び生徒等本人の同意がない場合は、当該本人を特定する情報を除く。)を理事長並びに各設置校長に報告しなくてはならない。

2 総務課長は、委員会が調査を開始した後、適宜、その進捗状況を理事長並びに各設置校長に報告するとともに、調査を終了した後、直ちに、その結果を理事長に報告しなければならない。

(是正措置等)

第12条 理事長は、法令違反行為の存在が確認された場合は、遅滞なく、その是正措置及び再発防止措置を講じなければならない。

2 総務課長は、前項の措置が講じられた場合は、当該措置に係る法令違反行為に関する通報を行った教職員等、学生等及び生徒等に対し、その措置の内容を通知しなければならない。ただし、当該教職員等、学生等及び生徒等の連絡先が明らかでない場合は、この限りではない。

(不利益取扱いの禁止)

第 13 条 本学園は、教職員等、学生等及び生徒等が公益通報等を行ったことを理由として、当該教職員等に対し、解雇、減給、降格その他の不利益な取扱いを行ってはならない、又当該学生等及び生徒等に不利益な取扱いを行ってはならない。ただし、教職員等、学生等及び生徒等が不正の目的をもって公益通報等を行った場合は、この限りではない。

2 教職員等、学生等及び生徒等は、他の教職員等、学生等及び生徒等が公益通報等を行ったことを理由として、当該教職員等、学生等及び生徒等に対し、不利益な取扱いを行ってはならない。

(委員会の事務)

第 14 条 委員会に関する事務は、総務課が行う。

(規程の改廃)

第 15 条 この規程の改廃は常務理事会が行う。

附 則

この規程は、平成 19 年 11 月 17 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 23 年 7 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 25 年 11 月 7 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 28 年 3 月 24 日から施行する。